

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社広島メタル＆マシナリー

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広白岳1丁目2番43号

(3) 業種

製鋼・製鋼圧延業

2 計画の期間

本計画の期間は、18年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂) , 削減率 (%)

温室効果ガス の種類	基準年度実 排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績				
		上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
平成 18年度		平成 32年度						
エネルギー 起源CO ₂	94,280	92,394 (2.0)	95,165 (0.9)	100,750 (6.9)	85,448 9.4	56,726 39.8		100.0
非エネルギー 起源CO ₂	45	(100.0)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	94,280	92,394 (2.0)	95,165 (0.9)	100,750 (6.9)	85,448 9.4	56,726 39.8		100.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価	前年度は6.9%増となったが、当年度は顧客の生産量の回復と大規模な修理の発生もなく、操業の効率化に貢献出来た。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標 : 製品出荷数量(t)

温室効果ガス の種類	基準年度の 実績 (a)	目標年度		計画期間の実績				
		上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
平成 18年度		平成32年度						
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kL)	198.7	196.7 -1.0	198.2 0.3	189.6 4.6	186.4 6.2	193.1 2.8		100.0
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 電気使用量の削減	該当操業による電気使用量を年2%減	・操業の見直し生産量を調整し休止時間を設ける ・生産物に見合った電炉（30T炉を新規設置）、電気使用量削減を目指す
2 電気使用量の削減	該当操業による電気使用量を年0.5%減	・コンプレッサーの統合によりロスを削減効率化により電気使用量を削減する
3 電気使用量の削減	原油換算 200KL/年	工場内の水銀灯をLED化、工場内の全台数完了
4		

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

種類	合計量
1 廃棄物排出量の削減	印刷ミス防止とPDF化ができる複合機に変更 紙での保管を削減
2 リサイクル率の向上	リサイクル品の回収の徹底 宅配便の集約（個別に送らない）
3 その他	自転車通勤者を増やす（コロナ禍）

○ その他の取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1		
2		
3		

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。